

令和2年度 自己評価報告書

令和 3年 4月 1日

太田東保育園

1. 本園の教育・保育理念、教育・保育目標

『教育・保育理念』

「信（信仰・信念）・誠（誠意・責任感）・敬（尊敬・人権尊重）・愛（慈悲・愛情）」
を四眼目とした保育を行う。

すべての子どもにとって最もふさわしい生活の場を保障し、愛護するとともに
最善の利益を守り、子育ての負担感の緩和を図り安心して子育て子育てができる
環境を整える。

『教育・保育目標』

生命の安全を守れる基本的な習慣を身につける

「つよいからだ」「やさしいきもち」「すなおなこころ」

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

『目標』

自園の教育・保育理念、教育・保育目標を全職員が理解する。

活発な意見交換をし、質の高い教育・保育を目指す。

『計画』

“太田東保育園の職員像” を常に意識しながら職にあたる。

“柔軟な考え” “考動” を実践する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育・保育理念、教育・保育目標の理解のための園内研修	B	年度の始めの職員勉強会で“太田東保育園の職員像”を読み合わせ再確認し共通理解を図る。年度末には一人一人が“太田東保育園の職員像”について評価し振返る。それをもとに主幹保育教諭との面談を行った。
2	教育・保育の質の向上のための園内研修	A	4月“太田東保育園の職員像” 6月“連絡ノートの書き方” “保護者対応”

			11月“救急119番、緊急対応研修” 12月“困り感について” “主体的な保育について” “遊具の遊び方について” “児童票について” 活発な意見交換を行った。
--	--	--	---

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> * 今年度は保護者からの苦情が寄せられた。職員全員が真摯に受け止め改善に努める。“太田東保育園の職員像”はわかっているが言動が伴っていなかったようだ。職員同士が話しやすい環境を整えていく。 * 園内研修にて『救急、緊急内容について』のマニュアルを作成した。このように園内研修では習得したことが則、実践に通じるので真剣に取り組み活発な意見交換が行われ充実した時間が過ごせた。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組むべき課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	園内研修	教育・保育理念、教育・保育目標の理解と共に教育・保育の質の更なる向上のため継続して研修を行う。また、zoom等の外部研修を積極的に受け全職員で情報を共有していく。
2	マニュアルの見直し・作成	救急以外のマニュアルを見直し、より使いやすいものにしていく。